

〇〇 様

本日は御多忙のところ 誠に有難うございました。文末にもありますように、弊社は未完成な零細企業でしかありませんが、計測事業部が社運を握ると考えています。しかし、トリオデザイン事業部が売上利益を確保することが最低条件です。〇〇様には、製品でお力添えをいただくことはもちろんですが、できれば常々申しておりますように協業できればと考えています。結果はどうなるか保証は有りません信念を強く持って進んでください。今後ともよろしくお願い申し上げます。

本間 剛

---

本日はお忙しい中、株式会社サンエイ社屋 お披露目の会に御臨席賜り誠に有難うございました。改めて御礼申し上げます。会の中でも御挨拶させていただきましたが時短のため省いた部分を記させていただきます。

弊社のこれまでを知る複数の方に「神社の隣ってというのは狙っていたのですか」と言われました。私事です。神道系の信仰を持っていまして毎日神棚に手を合わせますし物事の節目には神社に相談に参ります。毎日の祈りは神鏡に自らを映す気持ちで、株式会社サンエイの社員全員で神様に代わって神様の仕事（公共の福祉）をさせていただきますので正しい方向にお導きお見守りください。という一種の誓いみたいなものです。正しい道を進めば衝突や落下はないということを信じているわけです。社員にもそのことは常々申しておりますが、どこまで理解してもらっているかはわかりません。

会社は創業 28 年目ですが、初めの 14 年はアパートの 1 階事務所で商社として仕事をしていました。会社設立後 14 年目に私がトリオデザイン事業部と名付けた洗浄装置関係のものづくりを始めようと思い立って物件を探しましたが、創業者であり当事の社長である父の友人（故人）が行田で借りていた物件の敷地が半分以上空いていて一目見てそこに決めました。神社の向かいだったからです。当時も「現在の私にふさわしい物件、お願いします」と不動産屋さんではなく、神社さんをお願いしていたのでした。

早いもので、あれからまた 14 年経ちまして、お蔭様でトリオデザインの事業は人材等の問題がないわけではないですが順調に利益を生んでいます。今回、トリオデザイン事業部より売り上げの大きい弊社の柱である計測システム事業部も、ものづくりへの挑戦をすることになりました。プライベートでも、この間、50 歳にして築浅中古自宅を購入したのですが、これも以前住んでいた熊谷市市役所の湯殿神社へお願いしてからすぐに見つかり即決しました。さて、ものづくりを行うための拠点は、そのまま賃貸の行田を使うことがコストの面では一番だったのですが、やはり湯殿神社に参り「私共に最もふさわしく会社が発展できる返済可能な物件をお願いします」と祈りました。割と早く内見物件として御紹介いただいたのが当社屋です。八幡大神社さまを見て「絶対ここで決まり」と私は思ったのですが、何故か話は流れてしまいました。次に御紹介いただいた物件は心に響くものはなかったのですが申し込みました。しかし、やはり流れてしまいました。

ここで思い出したのが現在進行形で私が社長ブログで書いている古事記の「みとのまぐわいのくだり」です。イザナギ命・イザナミ命が国産（くにうみ）したとき初めにヒルコと淡島という不完全なものが生まれ、天神（あまつかみ）に相談するというお話です。私は また湯殿神社に参り「私は初めに御紹介いただいた物件が間違いないと思ったが何故か流れた、もう一度反省しこれからは動かずに待つことにします」と申し上げたところ、もう一度話が返ってきて売主様はじめ金融関係の方々に御協力いただいて購入することが出来たというのが流れなのです。天神に相談して日本の国土が生まれたように、神様と相談して購入できたので、私は発展していけると信じております。

この物件は現在の私どもからすると、建物に人間が追いついていない状態です。しかし私は、社員に期待しています。きっとこの社屋が私を含めた社員を育ててくれるに違いないと思っています。この社屋にふさわしい会社になることをお誓いして私のお話を終わりたいと思います。有難うございました。

令和元年九月廿六日 頓首再拝

株式会社サンエイ 本間 剛